

No.508

8月
2005.平成17年

御

ONJUKU

宿

- 2 海山日記
- 6 まちの出来事
- 12 彩発見



初めての 13歳の夏 出逢いは

御宿中学校の一年生の楽しみは何と言っても『海山交流』。今年で三十回目を迎えた交流会は八月一日から三日まで行われました。

野沢温泉村の生徒四十五名は御宿に着くと海の青さと砂浜の白さに驚いた様子でした。バスを降りると暑い日差しと御宿中学校の生徒五十七名が温かく迎え、交流会のスタート。

海山日記

ここから始まる 僕らの友情

野沢温泉村との交流は今回で30回目を迎えました。第1回に交流した生徒は、今では、参加する生徒の父兄になっています。

お父さん、お母さんたちの年代から続いている交流会。今年はどのような絆が生まれたのでしょうか。

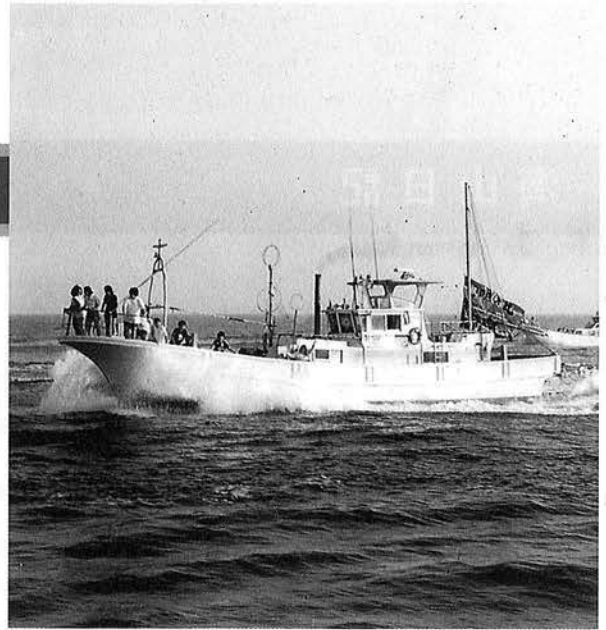


初めての出会いに少々緊張気味。お互いに顔を見合わせたいのですが、何か照れくさそうな感じの生徒たち。

歓迎会で、両校の代表のあいさつに、「この交流会を待ち望んでいました。これからの3日間がとても楽しみです。」と、言葉どおり、生徒全員が期待に胸を膨らませていました。

歓迎会の後には両校で海水浴。そして御宿の生徒も野沢温泉の生徒もほとんどが初めて漁船に乗って、網代湾を遊覧。この時には、すでにお互いを理解し合おうと会話をし、すぐに仲良くなりました。また、地引網やバナナボートなどで一緒に楽しんだことは、これからの友情アルバムの一ページ目を飾ることでしょう。

海物語



漁船での遊覧は海山交流の楽しみの一つ



漁師にだって負けないぞ

楽しんだ夏の御宿

海山交流は短い三日間ですが、生徒同士には思い出深い毎日となりました。

浦仲海岸での海水浴は熱い砂の上を走りながら海に飛び込み。岩和田海岸売店の皆さんから借りたボディーボードで波乗りの体験やマリッジットで引つ張るバナナボートに乗ってスピードの迫力にご満悦。

このほか地引網に挑戦した生徒たちは、出身地も関係なく仲間力で力をあわせて大物を狙います。かかった魚を早く見たいと夢中になつて網を引くとアジやボラなどたくさん魚を獲ることができました。

PTAの皆さんのご協力により、用意できたバーベキューを見て「美味しそう、早く食べたい。」と我慢できない様子です。イカやサザエなど御宿の海産物をはじめ、フランクフルトやとうもろこしなど、お腹いっぱい食べて、御宿を満喫しました。



ちょっと水が冷たい!? でも気持ちいいね



海で食べるバーベキューは格別



別れを惜しみながらの手紙の交換

交流会も最終日となり、お別れ式が岩和田漁港で行われました。握手をしたり、肩を組んで写真を撮るなど友情を確かめ合うほか、手紙を渡しながら「楽しかったよ。ありがとうね。」「野沢に絶対来いよ。」と再会を約束していました。バスが発射してからもお互いの姿が見えなくなるまで手を振り続け、冬に会えることを楽しみに笑顔で見送りました。

楽しみな冬の野沢温泉



冬に会おうね。

海山日記

3日間の

御宿の皆さんのおかげで 世界一になりました。

メキシコ少年野球団は東京で開催された軟式野球世界大会に参加するため7月19日から25日まで御宿町でホームステイしました。

遠い国での生活、文化の違いなどから大会を目前に控えた選手たちは不安を抱え緊張している様子でしたが、ホストファミリーの皆さんが食事や生活習慣の違いにも対応していただきました。皆さんのご協力によりベストコンディションで試合に臨むことができ、4連覇を達成することができました。



明るい社会をめざして

社会を明るくする運動

「社会を明るくする運動」御宿地区実施委員会は、7月13日（水）に大原警察署、保護司・更生保護女性会、社会福祉協議会、その他各種団体の協力により、JR御宿駅前や御宿中学校校門前でキャンペーンを実施しました。この運動は、犯罪や非行を防止し、また犯罪や非行から立ち直ろうとしている人を支えながら「いきいき」とした明るい社会を築くことを目標に行われています。



ま ち の 出 来 事

Town Report



浜とび魚子ども会 キックベースボールで準優勝

第40回青少年のつどい夷隅支部大会

キックベースボールで夷隅郡市内の各地域の激戦を勝ち抜いた小学生チームによる「第40回青少年のつどい夷隅支部大会」が7月30日に夷隅町文化とスポーツの森で行われました。

各市町の代表は総勢17チーム。御宿町からは4チーム参加し、そのなかでも浜とび魚子ども会が大健闘。惜しくも優勝は逃がしましたが、準優勝でも全力を出したことに子ども達も満足していました。

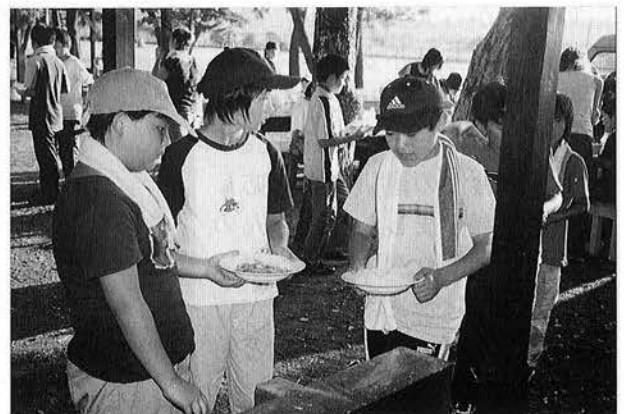
リーダーとしての成長を

インリーダー講習会

宮少年自然の家で7月28日・29日にインリーダー講習会が行われました。

この講習会は、各小学校の6年生が団体活動を通じてリーダーとしての知識や技能を身につけることを目的としています。

子ども達だけで食事の準備や後片付け、部屋の掃除など、慣れないことを行いながらも笑顔の多い講習会となりました。



平成17年度 いい歯の日 (11月8日) 川柳コンクール

夷隅郡市歯科医師会では、歯の健康づくりへの関心を高め、積極的に取り組むことを目的として、“歯”“お口の健康”をテーマにした川柳を募集します。

皆さまのご応募お待ちしております。

【応募資格】

勝浦市・夷隅郡に在住の方

【応募方法】

ハガキに以下の必要事項を記入のうえお送りください。

- ①作品 (ハガキ1枚につき1作品とする。)
 - ②作品に関するコメント (解説等あれば記入のこと。)
 - ③住所 ④氏名 (フリガナ)
 - ⑤年齢 ⑥電話番号
- あて先：〒298-0004

夷隅郡大原町大原7680-4

ちはら歯科医院内 夷隅郡市歯科医師会

締め切り：平成17年9月30日(金) 消印有効

【表彰】

入選作品(市町ごとに2点)には、賞状および記念品を贈呈します。

*1人何点でも応募可能ですが、未発表のものに限ります。

*著作権は、主催者に帰属します。

*応募された作品については、広報用としても活用します。

【平成16年度の御宿町入選作品】

優秀賞

「リストラを されぬ歯 いい歯 歯の手入れ」
塚本 舞 様

佳作

「八十路越え せんべい噛む音 吾が自慢」
佐久田 みさこ 様



人権擁護委員 古澤 弘さん

古澤さんは、平成十三年に人権擁護委員に就任以来、多年にわたる国民の基本的人権の擁護と自由人権思想の普及高揚に貢献した功績が認められ、千葉県人権擁護委員連合会総会において表彰されました。

千葉県人権擁護 委員連合会長表彰

放課後の楽しみ

子ども・わいわい教室

町 公民館では、今年度から放課後の子どもたちの居場所づくり事業として、毎月第4金曜日の午後3時30分から「子ども・わいわい教室」を開催しています。

約30名の子どもたちが参加。御宿海岸の砂を利用した「砂絵作り」、個性あふれる「絵手紙」に夢中で取り組んでいます。

子どもたちが楽しんで描いた力作は、秋の町文化祭に展示されます。



町の動き

【7月】

8日(金) 高齢者スポーツ大会

9日(土) 海開き

10日(日) プール開き

14日(木)・16日(土)

水稲航空防除

16日(土) メキシコ少年野球団
来町(25日まで)
青少年つどい大会

28日(木)・29日(金)

インリーダー講習会

おんじゅくの
介 護
42

十月から介護保険制度の一部が変わります

在宅サービスを利用している方は居住費や食費は自分で負担して生活しています。一方、施設サービスを利用している方は居住費や食費の大部分が介護保険の給付の中でまかなわれています。この在宅と施設での自己負担を公平にするため、平成十七年十月から利用者負担の一部が次のように改正されます。

1、施設を利用したときの自己負担が変わります

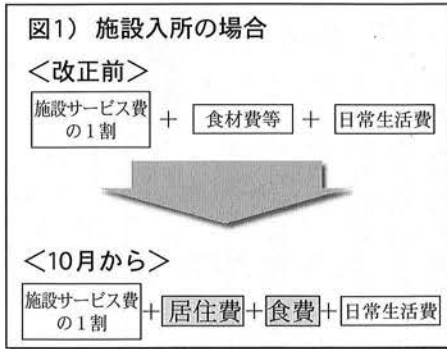
介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設に入所したときの**居住費・食費**が全額自己負担となります。(図1)

また、短期入所生活介護・短期入所療養介護(ショートステイ)は**滞在費と食費**、通所介護(デイサービス)・通所リハビリテーション(デイケア)は**食費**が自己負担となります。

居住費・食費については、利用する施設と利用者との契約になります。施設の種類や部屋の居住環境等で設定される金額が異なりますので、利用される施設にご確認ください。

※居住費＝建物の利用料(減価償却費等)＋光熱水費
※食費＝食材料料費＋調理にかかる費用

利用する施設と利用者との契約になります。施設の種類や部屋の居住環境等で設定される金額が異なりますので、利用される施設にご確認ください。



2、特定入居者介護(支援)サービス費が創設されます

前述の1で説明したとおり、居住費と食費を利用者が全額自己負担するようになりますが、収入の少ない方については、**負担軽減措置**があります。

世帯の課税状況や収入の状況(利用者負担段階)に応じて負担限度額を定め、平均的な費用額(基準費用額)との差額を特定入居者介護(支援)サービス費として給付することになりました。

対象となるのは利用者負担段階が「第1段階」～「第3段階」に該当し(表1)、介護保険施設に入所またはショートステイを利用する方です(デイサービス・デイケアは対象外)。

軽減を受けるには「**介護保険負担限度額認定申請書**」を提出する必要がありますので、お問い合わせください。

[表1]

利用者負担第1段階	・町民税世帯非課税で老齢福祉年金を受給している方 ・生活保護を受給している方
利用者負担第2段階	・町民税世帯非課税で合計所得金額と課税年金収入額の合計が年間80万円以下の方
利用者負担第3段階	・町民税世帯非課税で「利用者負担第2段階」に該当しない方 ・高齢者のいる世帯で「利用者負担第4段階」に該当するが、一定の要件を満たす「特例減額措置」の対象の方
利用者負担第4段階	・上記以外の方で本人が町民税非課税の方 ・本人が町民税課税の方

[表2]

区 分	上限額
・生活保護受給者	(世帯/個人) 15,000円
・利用者負担第2段階 ・老齢福祉年金受給者	(個人) 15,000円
・利用者負担第3段階	(世帯) 24,600円
・利用者負担第4段階	(世帯) 37,200円

また利用者負担額の支払いから2年が経過すると支給されません。

3、高額介護サービス費の一部が変更になります

介護サービス費用の1ヶ月の利用者負担額(1割の自己負担分)が一定の上限額を超えた場合、申請により超えた金額が高額介護サービス費として支給されます。

この一定の上限額の設定が一部引き下げられます。(表2)

※介護保険料を滞納していると高額介護サービス費が支給されることがあります。また利用者負担額の支払いから2年が経過すると支給されません。

【お問い合わせ】

保健福祉課介護保険係
電話(六八)六七一六
内線二二七

ご存じですか？ 福祉の制度

福祉 ワンポイント

児童手当

児童を養育している方に手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健全な育成及び資質の向上に資することを目的としています。

【受給資格者】 9歳到達後の最初の3月31日までの児童を養育している方
ただし、所得が一定額以上ある場合は、手当は支給されません。

【児童手当の額】

第1子	月額 5,000円
第2子	月額 5,000円
第3子以降	月額 10,000円

【支払時期】

毎年2月、6月、10月

児童扶養手当

父母の離婚などで父のいない児童や両親のいない児童など、父と生計を共にしていない児童を養育している母子家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的として支給される手当です。

【受給資格者】

次の条件に当てはまる18歳に達した3月末までの児童（心身に基準以上の障害がある場合は20歳になる誕生月までの児童）を監護している母親、または、母に代わってその児童を養育している方

- * 父母が離婚した児童
- * 父が死亡した児童
- * 父が政令で定める障害のある児童
- * 父が生死不明な児童
- * 父が1年以上遺棄している児童
- * 父が1年以上拘禁されている児童
- * 母が婚姻によらないで生まれた児童
- * 生まれたときの事情が不明である児童

ただし、父母や生計を共にしている扶養義務者の所得が一定額以上ある場合や、公的年金を受けられる場合は、手当は支給されません。

【児童扶養手当の額】

全部支給	月額 41,880円
一部支給	月額 41,870円～9,880円 ※所得に応じた額

【支払時期】

毎年4月、8月、12月

※児童が2人以上の場合は上記金額に5,000円加算、児童が3人以上は更に3,000円ずつ加算

特別児童扶養手当

家庭で介護されている障害のある児童（20歳未満）の福祉の増進を図り、その生活に寄与することを目的として児童の父母または養育者に対して支給される手当です。

【受給資格者】

身体や精神に障害のある児童（20歳未満）を監護している父もしくは母、または養育者
ただし、次の場合は手当は支給されません。

- * 児童が児童福祉施設に入所している場合（保育所・通園施設を除く）
- * 児童が障害を原因とする公的年金を受けている場合
- * 父母や生計を共にしている扶養義務者の所得が一定額以上ある場合

【児童扶養手当の額】

区分	平成17年4月から
1級（重度障害児）	月額 50,900円
2級（中程度障害児）	月額 33,900円

【支払時期】

毎年4月、8月、12月

これらの手当の申請またはご相談については、保健福祉課福祉係（TEL 68-6716）にお問い合わせください。

ONJUKU

情報

INFORMATION

募集

農業に関心のある人、募集します

夷隅農林振興センターでは、定年退職前後の方やUターン者など、主として中年の方で、野菜等の園芸作物で収入を得たいと考えている方を対象とした講座の受講生を募集しています。

▼**募集対象** 原則として農地を所有する方で、実施期間は平成十七年十月から十八年八月です。

▼**申込期限** 平成十七年九月二六日

▼**申し込み** 夷隅農林振興センター 振興普及部 改良普及課(大多喜町猿稲一四) Ⅷ八二―二二三 FAX八二―三九七五(午前九時から午

後五時まで受け付け)

自衛官を募集

防衛庁では、次のとおり自衛官を募集しています。

募集種目	応募資格	受付時間	試験期間
防衛大学生	推薦 高卒(見込含)21歳未満の者(推薦については高等学校長の推薦等が別途必要です)	9月5日～9月7日	9月24・25日
	一般 高卒(見込含)21歳未満の者	9月9日～9月30日	1次11月12・13日 2次12月13～16日
防衛医科大学校学生	高卒(見込含)21歳未満の者	9月9日～9月30日	1次11月5・6日 2次12月7～9日
看護学生	高卒(見込含)21歳未満の者	9月9日～9月30日	1次10月16日 2次12月18・19日

▼**問い合わせ** 自衛隊茂原募集事務所 Ⅷ〇四七五―二五―〇四五二

千葉井創作クッキング
コンテスト作品募集

県産米とバラエティ豊かな県産食材を組み合わせた、オリジナル井のアイデアを募集しています。

▼**応募資格** 県内在住・在勤・在学の方

▼**部門** ①親子部門(小・中学生とその親が対象で、忙しい朝でも短時間でつくれる簡単な井)②学校給食部門(栄養士・調理員が対象で、学校給食にふさわしい井)③一般部門(地域の食材や料理法などを取り入れた井) ※材料代は四人分で一千円以内とする。

▼**応募方法** 部門、料理のタイトル、四人分の材料、調理方法、所要時間、工夫のポイントを明記し、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて写真(イラスト可)を同封し郵送(FAXまたはEメール可)

▼**締め切り** 九月三十日(金)

▼**応募先** 〒二六〇・〇〇一八 千葉市中央区院内二一四一 千葉井創作クッキングコンテスト事務

局 FAX 〇四三―二二五―五八七八 E-mail info@kuroshioikakaku.com

▼**問い合わせ** 千葉県米消費拡大推進協議会事務局(県生産振興課内) Ⅷ〇四三―二二三二〇八五

「誰でもつかえるホームページ」コンテスト2005」作品募集

誰もが分かりやすく、見やすく、利用しやすい、ホームページを作成するための工夫を広く皆さんに知っていた、ため、コンテストを開催します。

▼**部門・対象・テーマ**

①ジュニア部門(県内に在住または在学の小・中・高校生)のグループ・個人の方など「学校紹介」②一般部門(県内に在住または在勤の個人の方など「地域の魅力紹介」「ボランティアと組織活動の紹介」)

▼**応募方法** ホームページから応募(作品のファイルを入れたCD-ROMと応募用紙の郵送でも応募可)

▼**応募期間** 九月二日(金)～十一月二十八日(月)必着

▼**応募用紙配布場所・応募先・問い合わせ** 〒二六〇・〇八六六七(住所省略可) 県健康福祉指導課 Ⅷ〇四三

一三三―二六〇七 FAX 〇四三―二二二―六二九四 HP http://www.pref.chiba.jp/ohonori/minna-hp/



九月九日は救急の日「救おうあなたの大切な人」

九月四日から十日までは「救急医療週間」です。

救急の日は、救急医療および救急業務に対する理解と認識を深め、かつ救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的として定められました。

千葉県では、休日や夜間に急病や突然のけがをしたときに、救急の診療所や病院を調べる事ができるホームページ「ちば救急医療ネット」を開設しています。 ※休日・夜間の救急時に当番医を探すには、こちらをご覧ください。

HP http://www.aq.pref.chiba.jp/

▼**問い合わせ** 県医療整備課 Ⅷ〇四三―二二三―三八八三

編集後記

御宿の花火大会は8月の第1木曜日、今年は8月4日に開催されました。午後8時から始まりますが、夕方5時頃には露店が並び、月の沙漠記念館の辺りは人ごみで溢れています。

はじめて花火の撮影に挑戦しましたが、これがとても難しく、下の写真のようなハイビスカスに似た花火はなかったはず。失敗ばかりのものでしたが、表紙の写真は我ながらよく撮れた一枚なので掲載しました。

(I)



人の動き

8,223人(-12) 男 3,914人 女 4,309人
世帯数 3,345 (平成17年8月1日)

御宿分署の出動状況

火災件数 0 救急件数 43 (227)
()内は1月からの累計(平成17年7月中)

交通事故発生状況

発生件数 11 死者数 0 負傷者数 12
(平成17年1月1日～7月31日現在)

町民バス利用状況

乗車人数 193 (1,335)
()内は1月からの累計(平成17年7月中)

ダムの貯水状況

貯水率 99.7% 有効貯水量 577,610 m³
(平成17年7月20日現在)

慶弔(7月届)

出生 2 死亡 7

御宿俳壇

兼題 (花火)

※兼題とは、俳句の題のこと

俳句愛好会

風鈴を吊るせば海風うけて鳴る
水打ちて風冷やかに路地抜ける
愛されし山河は遠く桐の花
汐の香のつ、抜けの路地花火焚く
あれやこれ浦を彩る尺花火
リハビリの気力削がれる蒸し暑さ
浦人へ空は貸し切り揚花火
静かなりざわめく寺の日の盛り

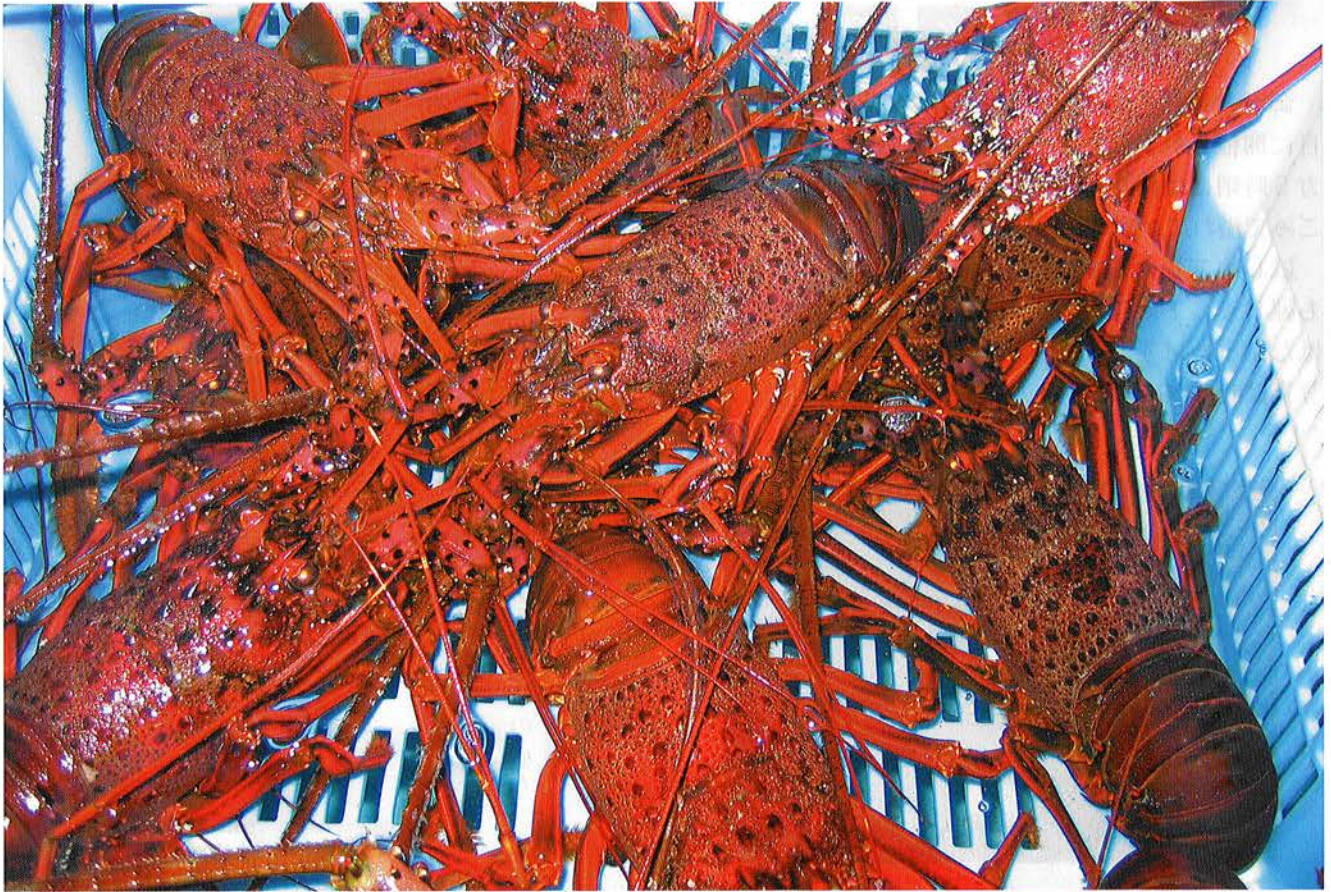
秋葉喜美江
岡山 守
大谷 仲
鶴岡 徳治
岡本 俊康
岡田まさし
小野 玲子
嵯峨 通恵

朝もやの晴れてしづかや合飲の花
海霧襲ふ町すっぽりと消えてをり
さみどりの田はさやさと音のして
手花火をかこむ一家の笑顔かな
いろいろな帽子が通る浦薄暑
屋根越えて来し新緑の大楠木
どことなく夕餉の匂ひ来し端居

大曾根利枝
福菌千鶴子
岩崎 千恵
桜谷 敬蔵
姫野 千晴
河崎 康代
石田ゆき緒

評

第1句目、有名な南部鉄の風鈴の音色にとらわれた作者感想は妙。第2句目、水を打った路地風も冷やかになって抜ける細かい作者の感性。第3句目、いつになっても尊い望郷心の作者。(石田)



イセエビという名の由来は、伊勢が主産地のひとつとされていたことのほか、磯に多くいるから「磯海老」、威勢がいいから「威勢海老」などの説もあり、房総半島から九州の沿岸に広く分布し、千葉県と和歌山県が漁獲高日本一を競い合っています。

6、7月は禁漁とされていますが、8月1日から解禁。10月ごろまでが主な漁期で、9月には毎年恒例の「伊勢えび祭り」が開催されます。



伊勢えび祭り開催

9月1日(木)から10月31日(月)までは協賛店(飲食業・宿泊業)で、オリジナル伊勢えび料理が楽しめ、また、メインイベントの9月18日には、月の沙漠記念館前広場でとってもお得な「伊勢えびセット」の限定販売や、獲れたて新鮮な直売所を開設。購入した伊勢えびはその場でバーベキューで食べられます。「伊勢えびつかみ取りコーナー」や、郷土料理「伊勢えび汁」の無料配布、御宿町の地域特産品の販売も行われます。

おんじゅく
彩 発見
さり

発行：御宿町 発行責任者：井上 七郎 編集：企画財政課 電話：0470-68-2511(代)
住所：〒299-5192 千葉県夷隅郡御宿町須賀1522 ホームページ：<http://www.town.onjuku.chiba.jp/>